



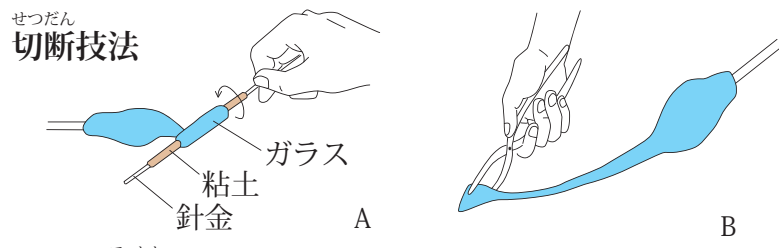
【古代人のアクセサリーってどうつくる?】

古来より、人びとは様々なアクセサリーを身につけてきました。古くは縄文時代の土製勾玉や動物の牙などに始まり、弥生時代になると、翡翠や瑪瑙、ガラス玉などを使用した美しい首飾りが登場します。

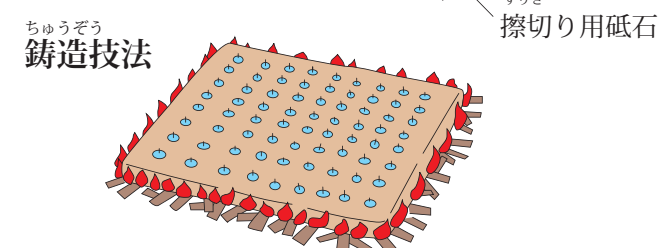
今回のはにわ通信では、はにわ館で開催中の、特別展「ねむれる王たちの至宝」で展示している古墳時代のアクセサリー類を例に、玉がどのような方法で作られているのか、穴の開け方を中心にご紹介します。

【ガラスの小玉・・・どうやって穴をあけたの??】

宮山古墳のアクセサリーは、ガラス小玉が大半で、総数7500個を超えます。ガラス小玉の穴は下のようにはできるのですが、写真の小玉は「切断技法」もしくは「鑄造技法」でつくられたものと考えられます。



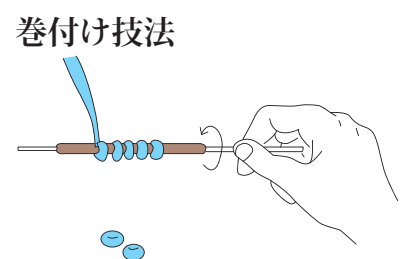
1. A: 鉄芯に薄く粘土を塗り、溶かしたガラスを巻きつける。
B: 管に息を吹き、管先端の溶けたガラスをのぼす。
2. AやBの方法でガラスの管をつくる。
3. 砥石で切断して丸く磨く。



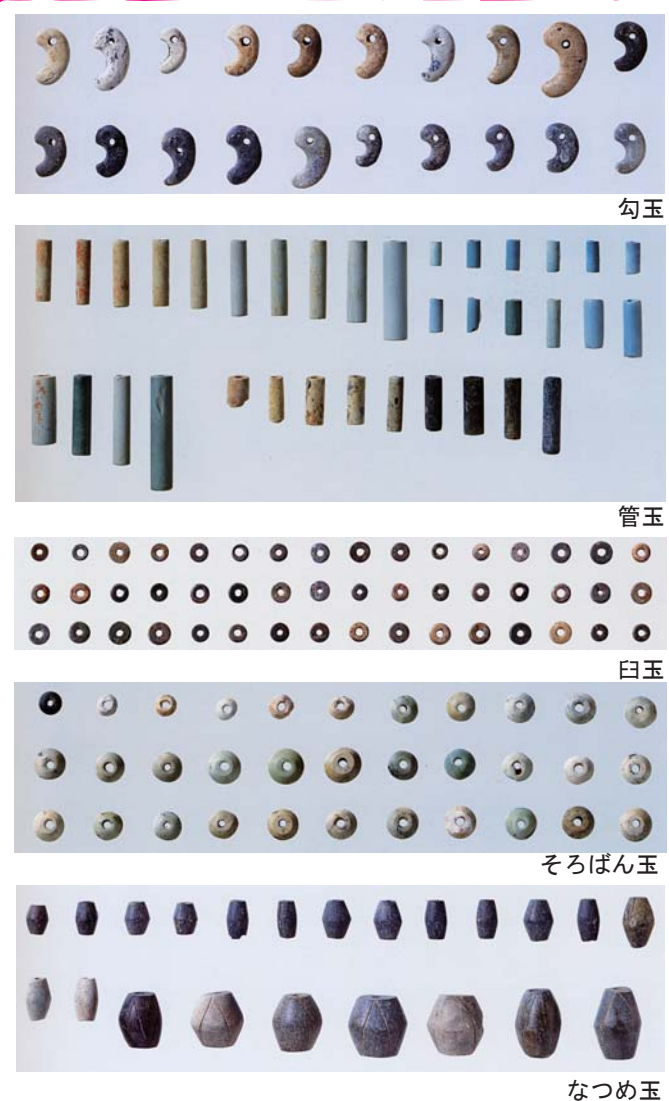
板状の粘土に小玉大のくぼみをあけ、ひも通し穴となる芯棒を立てる。ガラスの粉をくぼみに敷きつめ、鑄型を熱してガラスを溶かす。



宮山古墳出土のアクセサリー (重要文化財) 特別展にて展示中
※ひとつ粒の大きさはわずが5mm程度!



粘土を薄く塗った芯に、溶かしたガラスを細く巻きつける。



ひるいおおつかふん 屋飯大塚古墳出土の玉類 (特別展にて展示中)

【小さな石製の玉・・・どうやって穴をあけたの??】
石製の玉類は、大きな石の塊を徐々に小さく割っていき、ある程度の形に整ってから穴を開けます。先に穴を開けてしまうと、荒割りの時点で壊れてしまいます。
穴を開けるには石製や鉄製の錐が使われます。これを、「手もみ」や「弓ぎり」といった方法で回転させて穴をあけます。
穴が開いたら、さらに形を整えて、砥石のように硬い石で磨いて完成です。



『ものづくりの考古学』大田区立郷土博物館編より転載

文化財センター はにわ館 & ギャラリー 11月の催し物予定

11月の休館日は毎週月曜日です。開館時間は9時～17時です(入館は16時30分まで)。

【はにわ館】 入館料100円(18歳以下無料) ※「関西文化の日」11月17日(土)・18日(日)は入館無料

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」
第2展示室 ■はにわ館開館10周年記念特別展「ねむれる王たちの至宝-出土品からみた古墳世界-」10/6(土)～11/25(日)
ロビー ■ワークショップ「勾玉ネックレスをつくろう」11/18(日) 10:00～12:00、13:30～16:00(随時受付) 材料費100円、先着50名

【ギャラリー】 入場無料

第1・2・3ギャラリー ■第53回松阪市展 第2部(写真、書道) 10/27(土)～11/4(日) *最終日は15:00まで
第1・2ギャラリー ■平成24年度MOA美術館松阪児童作品展 11/10(土)・11/11(日) *毎日10:00～16:00まで
第1ギャラリー ■画塾 アトリエ・ルイ 2012 11/14(水)～11/18(日) *毎日10:00～、最終日は16:00まで
第2ギャラリー ■全日写連松阪支部「第41回写真展」 11/16(金)～11/18(日) *毎日10:00～、最終日は16:00まで
第3ギャラリー ■松阪美術協会「郷土を描く展」 11/18(日)～11/25(日) *最終日は16:00まで
第2ギャラリー ■森川久写真展「疾風の記憶 5th/10」 11/23(祝)～11/25(日) *毎日16:30まで、最終日は16:00まで
第3ギャラリー ■歴史ある松阪市を描こう 11/27(火)～12/2(日) *初日は13:00～、最終日は15:00まで
第1ギャラリー ■第7回ふるさとスケッチ「風の会」展 11/29(木)～12/2(日) *最終日は16:00まで



バーコード読み取り (文化財センター情報)